

竜爪中学校区小中一貫教育構想



【竜爪中学校区の学校教育目標（9年間で育成を目指す子どもの姿）】

高め合う仲間【視点1】

友だちとかかわり、本気で挑戦する子

【子どもや地域の実態】

- 明るく素直な子どもが多い。
- 異学年でも仲良くできる。
- 外遊びや運動が好きである。
- △学習習慣の定着に課題が残る。
- ◎教育に対する関心が高く、地域全体で子どもたちを育成しようという風土がある。

西奈小

竜爪中

北沼上小

【重点目標】

竜爪プライド

【重点目標】

思いを行動に～やってみよう 認め合おう～

【重点目標】

自分の思いや考えをもってやりぬく子

ふるさと教育の推進

- ・ふるさとを学ぶ
- ・ふるさとで学ぶ
- ・ふるさとに学ぶ

竜爪中学校区ならではの小中一貫教育カリキュラム【視点2】

学習指導部

特別活動部

生活指導部

仲間と共に学び合う子

学びの基盤を身につける活動の実施

- ・自分の思いや考えを広げる読書活動の実施を図る。
- ・単元展開の中に自分の思いや考えについて整理する「かく」（表現する）場面を設定する。

思いや考えを仲間と伝え合う 機会の確保

- ・協働的に課題を解決する場面を授業等で設定する。
- ・学習スキル表を意識し、学年に合わせた「話す」「聴く」「かく」力を系統的に指導を行う。

仲間との学びを振り返る時間の設定

- ・授業後や単元末に、仲間との学びや自分の学ぶ姿勢について振り返る時間を設定する。
- ・学びの姿勢を価値付ける評価をする。

相手のために自分から すすんで動ける子

より良い生活のために
主体的に動く子の育成

- ・「だ」「い」「じ」のスローガンを
用いたあいさつ活動、清掃活動の推進。
だれでも いつでも じぶんから
だまって いっしょうけんめい じぶんから
- ・自治能力、自尊感情を高めることができる
ふりかえりの場を設定する。

校則の見直しプロジェクト

- ・児童会と生徒会との交流を核に、共通に
学校内外で取り組む活動を検討させていく。

系統的な児童・生徒の主体的な活動
を支える組織づくり

- ・「だ・い・じ」活動の成果と課題の共有
- ・小中双方の校則変更の共有
- ・地域活動への参加方法の検討

人とのつながりを 大切にできる子

自他を思いやり 支え合い
高め合う子の育成

- ・竜爪中学区スタンダード（生活の約束）
を示すことで、正しい立ち振る舞いを身に
付けさせる。
- ・様々な考え方や価値観に触れ、相手のよ
さを知ったり、自分の考えを深めたり、言
葉について考えさせたりする道徳教育を推
進する。

健康に生きるための教育の推進

- ・小中の9年間を見通した体育・保健体育
科授業の実施により、健康に生きる意義を
考えさせる。
- ・早寝、早起き、朝ごはん活動を推進する。

自分の健康について
進んで考える子

教務部

【視点3】

事務部

グループ校研修
の実施

- ・小中一貫に関する
3校合同の教職員研
修を計画的に実施す
る。

児童生徒の交流
の実施

- ・西奈小、北沼上小
の交流の実施。
- ・竜爪中行事の児童
参観、交流の実施。

小中一貫教育の
教育課程作り

- ・9年間を見通した
年間指導計画を検討
する。
- ・小中一貫教育課程
表を作成する。

事務の
効率化・平準化

- ・事務処理に関する
情報の共有。
- ・共同学校事務によ
る効率化・平準化。

予算の有効活用

- ・教育課程と連動し
た予算執行管理。
- ・備品共有や消耗品
の共同購入などに
よる予算の有効活用。

環境整備

- ・共同作業による教
育環境整備。
- ・学校施設の共同点
検による、安全安心
な学校づくりの推進。

【地域との連携】

■竜爪中学校区ならではの
「しずおか学」

- ・歴史文化、お茶

【視点4】

■地域と進める教育活動

- ・小中一貫教育だより
- ・学校ボランティア

■地域・学校・保護者の活発な意見交流

- ・小中一貫教育推進委員会